

教 員 名	ず し 図 司 な お や 直 也
専門分野	農山村経済論、農村地域政策論、地域資源管理論
ゼミのテーマ	“ローカル”の視点からコミュニティづくりを考える
ゼミの内容	本ゼミは、“ローカルゼミ”として、地元や地方の魅力を再発見し、共感しながら、そこに関わっていく面白さを大事にしていきます。国内の農山村地域も、人口減少や高齢化が先んじて進み、豊かな環境を備えた田園景観の維持も困難になりつつあります。その一方で、上の世代が繋いできたその場所の風土に根差した文化や技、知恵がたくさんあり、全国各地で若者たちが昔の記憶を残しながら、暮らしやなりわいづくりに活かす新たな展開が生まれています。 そこで本ゼミでは、地元や地方の社会的・経済的諸問題を議論しながら、“ローカル”の今を読み解く「ものさし」を学び、皆さんが学生として、また社会人として問題解決にどう関われるのかを一緒に探っていききたいと思います。 専門演習Ⅰでは、まずは“ローカル”の現場に触れ、実践活動を通して関心を高める機会を作っていきます。夏休み期間中は、他大学の学生とともに活動するフィールドスタディへの参加を予定しています。また夏季合宿として、ゼミ活動を受け入れてくれる農山村に出かけ、地域住民の皆さんとの交流を通して、暮らしや集落活動の現場を経験し、その後の活動の進め方を考えていきます。 専門演習Ⅱ・Ⅲでは、前年の実践活動から得た現場へのまなざしを深めていきます。“ローカル”の再生に向けて、テキスト等を通して問題の背景を理解するとともに、先発事例を交えて解決手段を議論します。また、各自で関連したテーマを選んで、フィールドワークを含めた研究を進めます。最終的には、個別に卒業論文の形でまとめていきます。 図司ゼミは、通常のゼミの時間帯に加え、フィールドでの実践活動に比重を置いています。長期休暇中や週末にも現地活動に参加できる、積極的な学生の応募をお待ちしています。
次年度選考会 選抜方法	①ゼミの志望動機、②ゼミのテーマについて関心のある内容、③自己PRについて、A4・1枚(1,200～1,600 字程度)にまとめて提出してください。そのレポートをもとに面接を行います。